



コロナ禍における避難所運営

町防災訓練を実施しました

菊陽町は2月20日、菊陽中学校体育館で避難所開設の防災訓練を行いました。町長をはじめ計60人の職員が参加。

台風の上陸を想定し、コロナ禍において避難所を開設する際に気を付けるべきことや受付の方法を確認し、段ボールパーティションを使用して避難者の人数に応じた避難スペースの作成を実践的に行いました。加えて職員が実際に防護服を着用して消毒や着脱の方法を確認しました。



段ボールパーティションの組み立ての様子

菊陽町産にんじんを家族で食べて

町内小中学生ににんじんをプレゼント

菊陽町は2月19日、町内の小中学生約4,400人に菊陽にんじん2本と町地産地消推進協議会が開発したレトルトカレー1食分、にんじんを使った料理レシピを送りました。これは、地元の特産野菜を知ってもらい、新型コロナウイルス感染症対策のために家庭で過ごす時間が多くなった中、消費拡大や食育に繋げることを目的に初めて企画したものです。配布式が行われた菊陽中部小学校の1年1組では「にんじんが大好きだからうれしい」と話す児童の笑顔であふれました。



キャロッピーから袋を受け取る児童たち

動物に触れてみよう

もみじ園に移動動物園がやって来た

移動動物園が2月25日、もみじ園にやってきました。動物と触れ合った園児は0～5歳児の102人。

ひよこやうさぎ、ポニーに乗ってみたい、うさぎやモルモットを抱っこしてみたり、動物たちに自宅から持参した野菜をあげたり子どもたちにとって貴重な経験となりました。

堀田海碧さん(鉄砲小路)は「うさぎににんじんをあげるのが楽しかった。ぱくぱく食べてくれたよ」と感想を話しました。



小さいひよこと触れ合う堀田さん

どんな飛び方ができるかな

みどり園で縄跳び大会

縄跳び大会が2月25日、みどり園の園庭で行われました。参加したのは2～5歳児の園児77人。前跳び、後ろ跳びなどの基本的なものをはじめ、長縄跳び、8の字跳びなどを行いました。さらに最年長の年長さんはあや跳び、交差跳び、ふたり跳び、けんけん跳びなどより難しい跳び方に挑戦しました。最高記録は年長さんの不動龍さん(入道水)の前飛び320回。不動さんは「足が痛くなったけど頑張ってよかった。本当はもっと跳びたかった」と感想を話しました。



最高記録の不動さん(右)

緑のカーテン講座

町民の皆さんを対象に緑のカーテンのうちゴーヤーの苗を使用した講座を開催します。この講座は、ゴーヤーの育て方などを学ぶ講座です。

今年度は、コロナ禍の現状を踏まえ、会場は下記施設の駐車場にて行います。講師からのゴーヤーの育成方法などの説明の後、苗を配布します。

開始時間までには必ず出席いただくようお願いいたします。

参加を希望する人は、環境生活課に直接お申し込みください。

■定員 各30人程度

■申込期限 4月28日(水)

場所	日時
中央公民館 (駐車場)	5月10日(月) 午前9時30分～ (30分程度)
光の森町民センター (駐車場)	5月10日(月) 午前11時～ (30分程度)

緑のカーテンは太陽からの熱を遮り、葉からの水分の蒸発・冷却作用で窓辺などに涼しい空間を作り出します。見た目のイメージでも涼しさを感じさせてくれます。実際に室温も下がり、エアコンなどの使用量が減るため、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量を減らせます。

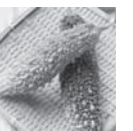
- ・冷房温度を低く設定しなくて済むため、電気代の節約になる。
- ・二酸化炭素削減、地球温暖化防止への貢献。
- ・目隠しになり、プライバシー保護に。
- ・実のなる植物の場合、収穫して食べる楽しみがある。

緑のカーテンで涼しい夏を

緑のカーテンの効果

緑のカーテンは建物や窓への直射日光を遮り、室温を下げる自然のカーテンです。今年の夏は、緑のカーテンで涼しい夏を過ごしませんか。

環境生活課 環境係 ☎(232)2114



今年の夏は地球に優しく涼みませんか
緑のカーテンでエコライフ

4月2日～8日は発達障害啓発週間です

毎年、4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。日本では4月2日～8日を「発達障害啓発週間」として、発達障がいについて多くの人に知ってもらおう機会としています。

発達障がいのことをご存じですか

発達障がい(自閉スペクトラム症、ADHD、LDなど)は、生まれつきの脳機能の障がい、認知の仕方や学び方に違いがありますが、周囲の理解や特性に配慮した支援・環境の工夫で持っている力を十分に伸ばしていくことができます。障がいについて正しく知ることが支援の第一歩です。障がいの有無に関わらず、違いを認め合い、支え合える社会にしていましょ。

あなたも学んでみませんか

4月1日(木)～19日(月)の期間は菊陽町図書館で「発達障がい関連書籍コーナー」を設置しています。

発達障がいに関する書籍や漫画など分かりやすく書かれている本を取り揃えています。この機会に発達障がいのことを学んでみませんか。



図書館内にある特設コーナー



発達障がい関連書籍コーナー

発達障がいに関する相談

① 県北部発達障がい者支援センター わっふる

☎(293)8189

② 福祉課 ☎(232)4913

■ 問い合わせ 福祉課 障がい福祉係

☎(232)4913



先輩に学ぶ～プロフェッショナルとは～

菊陽西小学校 キャリア教育

キャリア教育の授業が3月2日、菊陽西小学校で行われました。参加した6年生は計181人。地域学校協働活動の一環で、卒業を前に将来の夢や職業に興味を持ってもらうことを目的に、美容師や介護福祉士などさまざまな職種10人のプロフェッショナルが講師となり、仕事内容や進路に関する考え方などを話しました。

児童の一人は「自分の生き方に、生かしていきたいことがたくさん見つかりました」と話しました。



実践を交え講話をする警察官の片田香保里さん

感謝を込めて作りました

菊陽北小学校区に手作り看板設置

菊陽北小学校の6年生が3月1日、同校内と校区内行政区に手作りの「地域の看板」を設置しました。この日に設置が行われたのは光団地をはじめとする4カ所。手作り看板は3月上旬に、全部で12カ所に設置されています。

設置を終えた児童は「穴を掘るときは力が必要で疲れました。がんばって作ったものが自分の住んでいるところに残せてよかったです。きれいにできてよかったです」と話しました。



光団地公園に看板を立てる児童

カモシカを守っていくために

菊陽西小学校でSDGs学習

肥後銀行と株式会社九州自然環境研究所によるSDGs学習が3月15日、菊陽西小学校で行われました。参加者は小学6年生181人。同行の職員がSDGsや肥後銀行の植樹活動などを紹介し、同研究所の中園朝子所長が絶滅危機にある県内のカモシカに関する講義を行いました。受講した松下優さん(光7町内)は「カモシカなのに牛の仲間だということに驚いた。帰ったら家族と環境を守ることに話したり、カモシカのことを伝えたい」と話しました。



感想を中園所長に伝える松下さん

自信を持って新しい道へ

町立中学校で卒業式

町立中学校の卒業式が3月12日、開催されました。卒業生は菊陽中学校で161人、武蔵ヶ丘中学校で269人の合計430人。菊陽中学校では安武卓明校長の「おめでとう」の言葉と共に卒業証書が卒業生に手渡されました。安武校長は「卒業生の皆さんとの一番の思い出は修学旅行。一人もかけることなく全員で参加できたことは大切な思い出です。今日から菊陽中学校が皆さんの母校です。そのことを誇りに自信を持って歩いてください」と卒業生に語りました。



堂々と入場する卒業生、体育館後方には担任の先生からのメッセージが掲げられた